

TOP  
インタビュー  
トップビュー

つくば市を中心に、ホームページ制作などを手がける「ドサナイテ」。使い勝手が良く、目を引くデザインが人気を博している。曾我真社長(43)に事業の現状や強みを聞いた。(聞き手・服部牧夫)

「筑波大学卒業後に都内で勤務したが、ほとんど自然と触れることができない環境が体に合わなかった。つくばで事業を始めようと決め、発展が見込めるIT分野に着目した。個人経営の店舗などに飛び込み営業をしてホームページ制作を請け負っ

ドサナイテ

曾我 真 社長



人呼べるホームページ

た。2、3年で軌道に乗り、今は約100社の顧客を抱えている」  
「創業した10年ほど前、ホ

2006年にホームページ制作会社として創業。当初は曾我社長がつくば市内で飛び込み営業を重ねて、顧客を獲得した。ホームページ制作のほか、ロゴや名刺作成などを手がける。社長のほかデザイナーとエンジニアの3人が自宅などで作業する。つくば市梅園。

1971年、岐阜県中津川市生まれ。96年に筑波大学卒業。東京都内の外資系法律事務所勤務などを経て、2006年につくば市でドサナイテを創業した。妻と子ども2人の4人暮らし。趣味は合気道。

ームページの多くは内容の変わらないものが多かった。そこで、日記のように書き込みができるブログ型の制作に力を入れた。ホームページ開設は知識がないとできないが、ブログ型ホームページは経営者が手軽に最新情報を発信できる」  
「強みは。美しく整えられたデザイ

ンと快適な操作性、安全性だ。きれいだけど操作性が悪かったり素早く操作できるが殺風景だったりすると、人を呼べるホームページにならない。硬軟の幅広いニーズに対応できるデザイナーと高い技術力のエンジニアが組んで初めて実現できる」

「従業員や顧客とのコミュニケーションは。

「デザイナーとエンジニアとはインターネットや電話を使い分けて意思疎通を図る。顧客とインターネットだけを通じてやりとりする人もいるが、仕事を始める前に必ず会う。会って話すと求めているものや置かれた状況がわかる。そこで得られる『肌触り』のような感覚を大事にしたい」